



# 設計住宅性能評価申請書

平成21年〇月〇日

〇〇〇評価センター 殿

申請者の氏名又は名称 日本 太郎 印

代表者の氏名

住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条第1項の規定に基づき、設計住宅性能評価を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

※受付欄	※料金欄
年 月 日	
第 号	
申請受理者印	

(注意)

- ① 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ② ※印のある欄は記入しないでください。
- ③ 申請者（申請者が法人である場合にあっては、その代表者）の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

## 申請者等の概要

## 【1. 申請者】

【氏名又は名称のフリガナ】ニホン タロウ  
【氏名又は名称】日本 太郎  
【郵便番号】000-0000  
【住 所】東京都世田谷区〇〇〇 1-1-1  
【電話番号】03-1111-9999

## 【2. 代理者】

【氏名又は名称のフリガナ】エド ジロウ  
【氏名又は名称】江戸 次郎  
【郵便番号】000-0001  
【住 所】東京都練馬区〇〇〇 1-1-1  
【電話番号】03-1111-0000

## 【3. 建築主】

【氏名又は名称のフリガナ】ニホン タロウ  
【氏名又は名称】日本 太郎  
【郵便番号】000-0000  
【住 所】東京都世田谷区〇〇〇 1-1-1  
【電話番号】03-1111-9999

## 【4. 設計者】

【資 格】(一級)建築士 (建設大臣)登録 〇〇〇〇〇 号  
【氏 名】江戸 次郎  
【建築士事務所名】(一級)建築士事務所(東京都)知事登録第〇〇〇〇〇 号  
(株)X・Y・Z設計工房  
【郵便番号】000-0001  
【所 在 地】東京都練馬区〇〇〇 1-1-1  
【電話番号】03-1111-0000

## 【5. 設計住宅性能評価を希望する性能表示事項】

- ・ 選択する評価項目  
音環境の住宅性能評価 有 無

## 【6. 備 考】

## (注意)

- ① 数字は算用数字を用いてください。
- ② 申請者からの委任を受けて申請を代理で行う者がいる場合においては、2欄に記入してください。
- ③ 建築主が2以上のときは、3欄には代表となる建築主のみについて記入し、別紙に他の建築主についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。
- ④ 4欄の郵便番号、所在地及び電話番号には、設計者が建築士事務所に所属しているときはそれぞれ建築士事務所のもの、設計者が建築士事務所に属していないときはそれぞれ設計者のもの(所在地は住所とします。)を書いてください。
- ⑤ 5欄は必須評価事項以外で設計住宅性能評価を希望する性能表示事項を選択してください。

## 建築物に関する事項

## 【1. 地名地番】

東京都世田谷区〇〇〇1番1号（東京都世田谷区〇〇〇1-1）

## 【2. 都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等】

- 都市計画区域内（ 市街化区域  市街化調整区域  区域区分未設定）  
 準都市計画区域内  都市計画区域 及び  準都市計画区域外

【3. 防火地域】  防火地域  準防火地域  指定なし【4. 敷地面積】 171.60 m<sup>2</sup>【5. 建て方】  一戸建ての住宅  共同住宅等【6. 建築面積】 79.91 m<sup>2</sup>【7. 延べ面積】 137.87 m<sup>2</sup>

## 【8. 住戸の数】

【建物全体】 一戸

【評価対象戸数】 一戸

## 【9. 建築物の高さ等】

【最高の高さ】 7.695m

【最高の軒の高さ】 5.675m

【階数】 地上（ 2階 ）

地下（ ）

【構造】 木造 一部 造

## 【10. 利用関係】

- 持家  賃貸  給与住宅  分譲住宅

## 【11. その他必要な事項】

## 【12. 備考】

日本太郎 邸 新築工事

## (注意)

- ① 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ② 1欄は、地名地番と併せて住居表示が定まっているときは、当該住居表示を括弧書きで併記してください。
- ③ 2欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。ただし、建築物の敷地が都市計画区域、準都市計画区域又はこれらの区域以外の区域のうち2以上の区域にわたる場合においては、当該敷地の過半の属する区域について記入してください。なお、当該敷地が3の区域にわたる場合で、かつ、当該敷地の過半の属する区域がない場合においては、都市計画区域又は準都市計画区域のうち、当該敷地の属する面積が大きい区域について記入してください。
- ④ 3欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、建築物の敷地が防火地域、準防火地域又は指定のない区域のうち2以上の地域又は区域にわたるときは、それぞれの地域又は区域について記入してください。
- ⑤ 10欄の「利用関係」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、利用関係が未定のときは、予定する利用関係としてください。また、「持家」、「貸家」、「給与住宅」、「分譲住宅」とは、次のとおりです。
  - イ. 持家 建築主が自ら居住する目的で建築する住宅
  - ロ. 貸家 建築主が賃貸する目的で建築する住宅
  - ハ. 給与住宅 会社、官公署等がその社員、職員等を居住させる目的で建築する住宅
  - ニ. 分譲住宅 建売り又は分譲の目的で建築する住宅
- ⑥ ここに書き表せない事項で、評価に当たり特に注意を要する事項等は、11欄又は別紙に記載して添えてください。